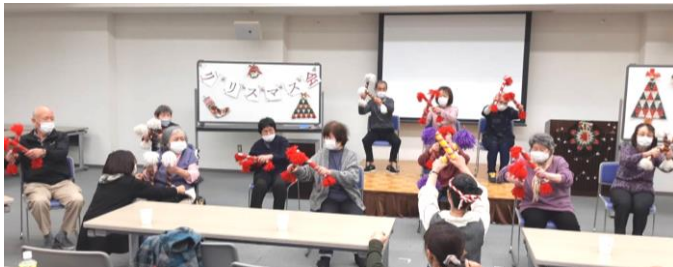


(10) 12/2 クリスマス会 きらめきプラザ

クリスマス会は、コロナ禍を吹き飛ばすような「笑顔あふれる一日」になりました！^^)

始まりは理事長大江朝美さんと坂口環さんの名コンビが行う「あさたま（朝・環）」ショー。「高齢者を火災から守ろう！」。イケメン消防士役の坂口さんと、独り暮らしのおばあちゃん役大江さんによるクイズありの寸劇に時間を忘れて楽しく防災を学びました。

続いて、ももハウスのメンバーによる「銭太鼓」の発表！会場のみなさんが一緒にリズムをとる姿はとても感動でした。



午後は、安来節の中本佑希さんが、どじょうすくいが登場。とても上手でおもしろかったです。傘回しでは一升マスからミカンまで色々なものを上手に回されました。傘回しに挑戦する人もいて盛り上がりました。ビンゴゲームをしたあと、閉会の前に裏辻哲也さんより亡き妻節子さんの生前のお礼が述べられ、みなさんで裏辻節子さんを偲びました。



みんなで記念写真

(9) 4月12日 スタッフの研修会をしました

岡山県介護福祉士会より谷口由美子さんと柴田育子さんを招いて「認知症の理解と意思決定支援」について学びました。「寄り添う気持ち」が大切！と学びました。



(10) 12月13日 畑の野菜を収穫しました！



大根、白菜、甘いミカンがたくさんとれました

【新しいスタッフの紹介】

① 三宅 妙子 さん

北区庭瀬に住んでいる三宅です。手話学校の第2講座在籍中に知り、皆さんと一緒にひと時を共有したいと思いました。「ももハウス」の感想は、月1回の参加ですがいつも温かく受け入れてくださることで。これからもよろしくお願ひいたします。

② 横山 恵子 さん

初めまして横山恵子です。手話学校で勉強していました。ろう者の方とコミュニケーションを取りたいと思って入りました。手話の読み取りや自分の気持ちを、手話で伝えるむずしさを痛感しています。気ながにみなさんとふれあい、手話を学びたいと思っています。今後よろしくお願ひいたします。

③ 鈴木 温子 さん

長男がろう学校に通っています。小さい頃は声が出せなかったため、何か自分の気持ちを伝える手段を一緒に考えたいと思い、手話を学び始めました。



私は自分にはないものの見方や価値観に触れることが好きです。息子は謎(なぞ)だらけです。楽しいことばかりではないですが、それでもすべてを楽しんでやろうと思っています。

私の知らない世界を教えてください。みなさんと一緒にいるだけでほんとに楽しい。人間は似ているようで一人ひとりまったく違う。そのこと自体を楽しめる社会になってほしいと願っています。私にも役立てることがあればいいなと思いながら生きています。

とにかく、ももハウスは楽しい！みなさんが優しく迎えてくださって、本当にありがとうございます。どうぞ、よろしくお願ひいたします！

みんなで支える「ももハウス」

「ももハウス」では、それぞれ役割をもって自分でできることをしています。今回は、いきいきと自分の役割をされているお二人をご紹介します。

① 「ふきんたたみ」 森政 道子さん

朝礼前に、ふきんたたみをしています。始めたきっかけは、みなさんが食器洗いや食器拭きをされているので、私も何かお手伝いをしたいと想い、誰もしていなかった「ふきんたたみ」をしています。始めは座ってしていましたが「足の力をつけるため」立って行なっています。これからも続けて、ももハウスのお役に立ちたいと思っています。



「役割を持つ」ことで、人は輝く！

② 「盛り付け」 藤原 須賀子 さん

施設で暮らしているため、身の回りのこと以外は何もすることがないです。ももハウスに来ると、昔していたことができるととても楽しいです。みなさんが南ふれあいセンターの「介護予防教室」に行かれている間、お昼ご飯を作る料理担当のお手伝いをしています。

食材を切ったり、お皿の数を数えて並べたり、おかずの盛り付けを手伝っています。

97歳の私でもこれからも続けて、昔していたことのお手伝いをしていきたいと思ひます。



2/3 お皿を並べて、盛り付けのお手伝い

縁の下の力持ち (えんのしたの力もち)

※ 意味=人の目につかないところで、他人のために支える苦労や努力をすること。また、そのような人。
今回は、お二人をご紹介します。

① 包丁研ぎ・庭木のせん定・など

裏辻 哲也さん

包丁の切れが悪くなると砥石を持参して磨きに来られます。庭木のせん定や花壇の花を植えに来られました。4年前に皇帝ダリアを植え、今では冬の風物詩になっています。また絵画教室の先生でもあります。



② 扉の修理など 阿部 東作 さん

腕のよい木工職人さんです。流しの扉など2カ所を修して下さいました。また、教卓やバッグなどを置く棚を作して下さいました。



.....

今の「ももハウス」は、かつて「高田理容室」でした。ここで理容の勉強を積んでこられた坂口 環 さんに思い出を語って頂きました。

「ありがとう、高田先生」 坂口 環

今の場所、「ももハウス」の以前の元高田理容室のことを少し話してみたいと思います。

私が岡山聾学校の中学3年生のとき、高等部の進路の3学科（木工科、被服科、理容科）は、どれにしようかと迷っていたとき、当時その学校の教員だった高田先生の父君（高田 博先生）に「僕の子どもの理容店で体験をやってみないか？」と声をかけられたのがきっかけでした。

その年の夏休みに高田理容室で1週間ほど体験させていただきました。

初めてお目にかかれた高田ご夫妻、まだ生まれたばかりの赤ちゃんの渉(わたる)君、そして二人の弟子がおられました。

まるで家族のように温かく迎えてくださったことは、昨日のこのように思い出されます。



その体験が終わった翌日の休日に弟子の方が私を連れて渋川海水浴場へ行きました。その日は青鳥会の行事でした。大勢の先輩たち

が集まっていました。先輩たちがいきいきと輝いていた姿を見て大きな刺激を受けました。そこで「理容師になろう！」と決めました。

あれから高等部を経て専攻科を卒業して高田理容室に住み込みとして就職しました。当時、大江朝美先輩が結婚を機に3月に退店された翌月の4月でした。

とても気さくで包容力のある高田繁幸先生。買い物と調理が趣味で、毎日盛り沢山のご馳走が出され、のほほんとした優しい奥さんの恵子さん。幼く無邪気で可愛い、頭の良い息子さんの渉君。とてもほっこりとした居心地の良い家庭でした。お店の営業面では、サービス精神が素晴らしく、お客様からの親近感もあって

いつも繁盛していました。先生は開店して以来、代々の弟子を一人前になるまで育てあげて立派な店を構えた実力のある方でした。大江朝美先輩も私もその中の一人です。



先生はいつもやさしく、時にはきびしくご指導を頂き、

「切磋琢磨」の4年間でした。高田理容室の方々との出会いがあったからこそ、今の私がいるのです。

深く感謝しています。「高田先生！

ご恩は一生忘れません！ ありがとう！」

今はもう居なくなって空き家になりかけていたときに、ももハウスが立ち上げて再び蘇ることができたのは、本当にうれしく思っています。

訃報のお知らせ

*裏辻節子さん 81歳 令和4年11月10日
*松本 茂さん 92歳 令和4年12月25日

心よりご冥福をお祈り申し上げます

～ 裏辻 節子さんを偲んで ～ 土屋教子

裏辻節子さんが昨年11月、癌により亡くなりました。ご冥福を心よりお祈りいたします。2013年、ももハウスの前身である岡山市ろう高齢者の立ち上げの頃からスタッフとして積極的に関わって頂きました。ろう者数名の方とホームヘルパー2級を取得。ももハウスの活動に大変役立てていただきました。とても器用なお方でした。刺し子布巾やバックなど素敵な手作り品をたくさん作って下さいました。また、とてもきれい好きな方で、ももハウスの片づけを一手に担って頂いていました。

最近では病気の治療を受けながら、ももハウスに参加していろいろなご助言を頂きました。最後の最後まで、ももハウスのこれからのことを真剣に考えて下さいました。裏辻節子さん、これまで本当にありがとうございました。

天国から見守っててください。